

広報いのせき

平成20年 12.15 No.78

- 岩手・宮城内陸地震 P 2 ~ 3
●公共施設使用料の見直し P 4
●暮らしの情報 P 8 ~ 11

主な内容

「幸運が重なつただけ」
丹精込めて育てた牛が
最上級の肉質評価受ける



全国肉用牛枝肉共励会和牛
雌牛部門最優秀賞に輝いた

千葉耕一さん

昭和55年から和牛肥育に取り組み、平成2年から専業。
花泉町永井。55歳



生後10ヶ月の子牛を市場で購入し、約20ヶ月間手塩にかけて育てる和牛の肥育。JAにおいて南管内で生産される「岩手南牛」は、肉質、味ともに高い評価を受けている銘柄です。千葉耕一さんは、全国から最高級の肉牛が集まる全国肉用牛枝肉共励会和牛雌牛部門で、最優秀賞を受賞。米沢、近江など有名ブランド牛の産地からの出品牛を抑え、最高の評価を受けました。

J Aの担当者に勧められ、今回初めて全国規模の大会に出品したという千葉さん。「JAの肥育牛生産部会全体のレベルが高い。自分の受賞はたまたま幸運が重なつただけ」とゆつくりとした口調で話します。

子どもの時から、常に家には牛がいたという千葉さん。昭和55年、子牛を生産する和牛繁殖から肥育に切り替え、4頭から経営をスタートしました。勤めに出ていた千葉さんが専業になつたのは平成2年。以来、徐々に規模を拡大し、現在約30頭を育てています。

牛の飼料は、トウモロコシ、ムギ、フスマなどを独自に配合したオリジナル。結果が出るまで約2年かかる肥育で、これまで積み重ね、少しづつ改良してきた方法にこだわります。子牛を買う時は一番は生産者、次に予算を考えながら、出荷時の姿を思い描きます。「結果のわかる出荷時が一番楽しみ」と穏やかに語る千葉さんです。

8世帯の避難勧告を解除

— 11月30日、祭時大橋仮設道路完成などにより —



市野々原から祭時への通行が可能となった仮設道路。11月30日正午の開通時には早速多くの車が通行しました

市野々原・真湯間通行可能に

市は11月30日正午、国道34号巣美町字市野々原地内から同字祭時地内への祭時大橋仮設道路開通などに伴い、避難勧告を継続していた11世帯36人のうち市野々原地内1世帯4人と祭時地内の7世帯18人、計8世帯22人の避難勧告を解除しました。

同国道を管理する県南広域振興局一関総合支局により工事が進められてきた同仮設道路は、仮橋(橋長約94m、幅6.5m)とその取り付け道路(幅5.5m)を合わせ、延長約558m。8月21日に着手し、関係者の懸命の努力により3カ月余りという短期間に完成しました。併せて祭時地内の国道の補修も進められ、これらにより、市野々原地内から真湯ゲートまでの約4.3kmが通行可能となりました。

市は、関係機関と連携して電気、ガス、水道のライフラインの復旧と安全確認などをを行い、すべての供給が可能となりました。また、避難勧告の解除に併せて、市野々原・祭時地内で災害時の緊急情報などを伝達する行政情報提供システムの整備を行ったとともに、祭時地内でテレビが視聴できるよう工事を進めました。また、これまで避難者が視聴できるよう工事を進めました。

避難所は復興支援住宅に改修

望したことから、市は、分館の西側に新たにそれぞれ独立した風呂、トイレなどの設備を設置し、復興支援住宅として引き続き生活できるよう整備することとした。また、これまで避難者が視聴できるよう工事を進めました。また、これまで避難者が視聴できるよう工事を進めました。

県・市が連携し情報提供・相談

県南広域振興局一関総合支局と市は、地震による被害の復旧状況などの情報提供や相談などについて、▽相談窓口の一本化▽合同による住民説明会の開催▽被災地域などへの「災害警戒本部だより」や「災害復旧かわら版」の配布▽「相談カード」の避難者などへの配布などにより、きめ細かな情報提供と相談対応などへの取り組みを進めてきました。今後とも連携し対応に当たつていくこととしています。

義援金2次配分を決定

当市には11月21日現在、3210件、1億854万987円の義援金をお寄せいただいたいます。県から配分されたものと合わせて、総額は4億4114万5455円となっています。

市は11月26日、2次配分にして災害義援金配分委員会に諮り、その結果を受けて、▽人的被害および住家被害に対する見舞金や離職者見舞金などの市配分単価を、8月に決定した一次配分の2倍(死亡・全壊150万円↓300万円、など)に増額▽新たに墓石倒壊復旧見舞金、農産物等被害見舞金、元気つ子・本寺

◎問い合わせ先
本府児童福祉課福祉総務係

金沢地区自主防災会 (花泉町)

金沢地区自主防災会(佐々木勝男会長)は11月10日、「自主防災組織育成事業」の助成を受け防災用資機材を購入し、大門と刈生沢に配備しました。

刈生沢コミュニティセンターで行われた納入セレモニーで、佐々木会長は「感謝の気持ちでいっぱいです。これを機に消防署の指導を頂いて運用訓練を重ね、自助、共助の精神を持って防災活動に取り組んでいきます」とあいさつ。関係者の皆さん防災への意識を新たにしていました。

防災資機材など整備

(財)自治総合センター
「宝くじの普及広報事業」



第10区自治会 (千厩町)

千厩町の第10区自治会(遠藤敏男会長、64世帯)は、「コミュニティ助成事業」を活用し、除雪機2台を購入しました。

積雪が多い同自治会では、幹線市道以外は住民が自力で除雪を行ってきました。購入を機に、地域内の公衆浴場「たまご湯」や福祉活動などで培った協力体制を生かしてチームを編成。自治会を中心とした共助の力で、隣組の生活道路や高齢世帯への通路などの除雪を行い、安心して生活できる地域づくりに取り組むこととしています。

祭時地内公共施設の状況についてお知らせします

まつるベスノーランド

雪遊び一部利用(12/23~)のご案内

まつるベスノーランドは、地震被害により運営できない状況にあります。南ゲレンデの一部緩斜面については、子供のソリ遊びなどに開放します。また、ロープトゥは利用可能です。

家族などでの雪遊び程度の利用となり、入浴や食堂の利用ができないことをあらかじめご了承ください。

◇利用可能日…12月23日㊁～21年1月18日㊁※12月31日、1月1日は休み。その後3月22日㊁までは月曜(祝日の場合は翌日)休み

◇利用可能時間…10時～15時

◇利用方法…南ゲレンデの緩斜面を開放しますので、自由にご利用ください。ロープトゥは、職員の指示に従ってご利用願います。

※地割れや地滑りなどがあった南ゲレンデ上部と北ゲレンデは立ち入り禁止とし、圧雪も行いませんので利用できません。

◇その他…団体利用はあらかじめご連絡ください。利用期間や時間は積雪状況や天候などで変更となる場合があります。自由開放ですでの、児童生徒の安全は保護者の責任で確保願います。

◎問い合わせ先…教育委員会生涯学習文化課☎6594

真湯山荘・真湯コテージ

真湯山荘は、地震被害が甚大であったことなどから、施設そのものを見直すことを検討中です。また、真湯コテージ(貸別荘タイプの宿泊施設)については、来春の営業再開を目指して取り組んでいます。再開のめどが立ち次第、広報などを通じてお知らせします。

◎問い合わせ先…本府観光戦略推進本部事務局、農地林務課



金沢地区自主防災会 (花泉町)

金沢地区自主防災会(佐々木勝男会長)は11月10日、「自主防災組織育成事業」の助成を受け防災用資機材を購入し、大門と刈生沢に配備しました。

刈生沢コミュニティセンターで行われた納入セレモニーで、佐々木会長は「感謝の気持ちでいっぱいです。これを機に消防署の指導を頂いて運用訓練を重ね、自助、共助の精神を持って防災活動に取り組んでいきます」とあいさつ。関係者の皆さん防災への意識を新たにしていました。

防災資機材など整備

(財)自治総合センター
「宝くじの普及広報事業」



金沢地区自主防災会 (花泉町)

金沢地区自主防災会(佐々木勝男会長)は11月10日、「自主防災組織育成事業」の助成を受け防災用資機材を購入し、大門と刈生沢に配備しました。

刈生沢コミュニティセンターで行われた納入セレモニーで、佐々木会長は「感謝の気持ちでいっぱいです。これを機に消防署の指導を頂いて運用訓練を重ね、自助、共助の精神を持って防災活動に取り組んでいきます」とあいさつ。関係者の皆さん防災への意識を新たにしていました。

防災資機材など整備

(財)自治総合センター
「宝くじの普及広報事業」



金沢地区自主防災会 (花泉町)

金沢地区自主防災会(佐々木勝男会長)は11月10日、「自主防災組織育成事業」の助成を受け防災用資機材を購入し、大門と刈生沢に配備しました。

刈生沢コミュニティセンターで行われた納入セレモニーで、佐々木会長は「感謝の気持ちでいっぱいです。これを機に消防署の指導を頂いて運用訓練を重ね、自助、共助の精神を持って防災活動に取り組んでいきます」とあいさつ。関係者の皆さん防災への意識を新たにしていました。

防災資機材など整備

(財)自治総合センター
「宝くじの普及広報事業」



金沢地区自主防災会 (花泉町)

金沢地区自主防災会(佐々木勝男会長)は11月10日、「自主防災組織育成事業」の助成を受け防災用資機材を購入し、大門と刈生沢に配備しました。

刈生沢コミュニティセンターで行われた納入セレモニーで、佐々木会長は「感謝の気持ちでいっぱいです。これを機に消防署の指導を頂いて運用訓練を重ね、自助、共助の精神を持って防災活動に取り組んでいきます」とあいさつ。関係者の皆さん防災への意識を新たにしていました。

防災資機材など整備

(財)自治総合センター
「宝くじの普及広報事業」



金沢地区自主防災会 (花泉町)

金沢地区自主防災会(佐々木勝男会長)は11月10日、「自主防災組織育成事業」の助成を受け防災用資機材を購入し、大門と刈生沢に配備しました。

刈生沢コミュニティセンターで行われた納入セレモニーで、佐々木会長は「感謝の気持ちでいっぱいです。これを機に消防署の指導を頂いて運用訓練を重ね、自助、共助の精神を持って防災活動に取り組んでいきます」とあいさつ。関係者の皆さん防災への意識を新たにしていました。

防災資機材など整備

(財)自治総合センター
「宝くじの普及広報事業」



金沢地区自主防災会 (花泉町)

金沢地区自主防災会(佐々木勝男会長)は11月10日、「自主防災組織育成事業」の助成を受け防災用資機材を購入し、大門と刈生沢に配備しました。

刈生沢コミュニティセンターで行われた納入セレモニーで、佐々木会長は「感謝の気持ちでいっぱいです。これを機に消防署の指導を頂いて運用訓練を重ね、自助、共助の精神を持って防災活動に取り組んでいきます」とあいさつ。関係者の皆さん防災への意識を新たにしていました。

防災資機材など整備

(財)自治総合センター
「宝くじの普及広報事業」



金沢地区自主防災会 (花泉町)

金沢地区自主防災会(佐々木勝男会長)は11月10日、「自主防災組織育成事業」の助成を受け防災用資機材を購入し、大門と刈生沢に配備しました。

刈生沢コミュニティセンターで行われた納入セレモニーで、佐々木会長は「感謝の気持ちでいっぱいです。これを機に消防署の指導を頂いて運用訓練を重ね、自助、共助の精神を持って防災活動に取り組んでいきます」とあいさつ。関係者の皆さん防災への意識を新たにしていました。

防災資機材など整備

(財)自治総合センター
「宝くじの普及広報事業」



金沢地区自主防災会 (花泉町)

金沢地区自主防災会(佐々木勝男会長)は11月10日、「自主防災組織育成事業」の助成を受け防災用資機材を購入し、大門と刈生沢に配備しました。

刈生沢コミュニティセンターで行われた納入セレモニーで、佐々木会長は「感謝の気持ちでいっぱいです。これを機に消防署の指導を頂いて運用訓練を重ね、自助、共助の精神を持って防災活動に取り組んでいきます」とあいさつ。関係者の皆さん防災への意識を新たにしていました。

防災資機材など整備

(財)自治総合センター
「宝くじの普及広報事業」



金沢地区自主防災会 (花泉町)

金沢地区自主防災会(佐々木勝男会長)は11月10日、「自主防災組織育成事業」の助成を受け防災用資機材を購入し、大門と刈生沢に配備しました。

刈生沢コミュニティセンターで行われた納入セレモニーで、佐々木会長は「感謝の気持ちでいっぱいです。これを機に消防署の指導を頂いて運用訓練を重ね、自助、共助の精神を持って防災活動に取り組んでいきます」とあいさつ。関係者の皆さん防災への意識を新たにしていました。

防災資機材など整備

(財)自治総合センター
「宝くじの普及広報事業」



金沢地区自主防災会 (花泉町)

金沢地区自主防災会(佐々木勝男会長)は11月10日、「自主防災組織育成事業」の助成を受け防災用資機材を購入し、大門と刈生沢に配備しました。

刈生沢コミュニティセンターで行われた納入セレモニーで、佐々木会長は「感謝の気持ちでいっぱいです。これを機に消防署の指導を頂いて運用訓練を重ね、自助、共助の精神を持って防災活動に取り組んでいきます」とあいさつ。関係者の皆さん防災への意識を新たにていました。

防災資機材など整備

(財)自治総合センター
「宝くじの普及広報事業」



金沢地区自主防災会 (花泉町)

金沢地区自主防災会(佐々木勝男会長)は11月10日、「自主防災組織育成事業」の助成を受け防災用資機材を購入し、大門と刈生沢に配備しました。

刈生沢コミュニティセンターで行われた納入セレモニーで、佐々木会長は「感謝の気持ちでいっぱいです。これを機に消防署の指導を頂いて運用訓練を重ね、自助、共助の精神を持って防災活動に取り組んでいきます」とあいさつ。関係者の皆さん防災への意識を新たにていました。

防災資機材など整備

(財)自治総合センター
「宝くじの普及広報事業」



金沢地区自主防災会 (花泉町)

金沢地区自主防災会(佐々木勝男会長)は11月10日、「自主防災組織育成事業」の助成を受け防災用資機材を購入し、大門と刈生沢に配備しました。

刈生沢コミュニティセンターで行われた納入セレモニーで、佐々木会長は「感謝の気持ちでいっぱいです。これを機に消防署の指導を頂いて運用訓練を重ね、自助、共助の精神を持って防災活動に取り組んでいきます」とあいさつ。関係者の皆さん防災への意識を新たにていました。

使用料の見直しを進めています

市の公共施設使用料は、現在、合併前の旧7市町村ごとに料金設定や減額免除の取り扱いが異なっています。また、公共施設の維持管理には多くの税が使われています(左の表のこと)。

こうした現状から、公共施設使用料についての取り扱いを統一することで不均衡の是正を図ることも、市が維持管理経費の縮減と効率化に努めること併せて、適正な受益者負担による歳入の確保を図ることで安定したサービスを提供するため、現在、見直しを進めています。

その概要をお知らせします。

◆見直しの基本的な考え方

◇合併前の旧7市町村ごとに異なるいた使用料を統一します。

◇受益者負担の適正化を図ります。(施設を将来にわたり維持しにくいため、施設利用者からも広く公平に負担を求めるます)

◇急激な負担増にならないよう緩和措置を講じます。

◆見直しの概要

◇料金改定施設・△公民館などの集会施設▽ホール(文化センターを除く)▽地域集会所的利用施設△公民館付属の体育館など△スポーツ施設の会議室

◇料金改定施設▽公民館などの集会施設▽ホール(文化センターや地域集会所的利用施設△公民館付属の体育館など△スポーツ施設の会議室



自主納税推進の貢献と努力に対し、表彰状が贈られました

20年度市納税表彰式

自主納税実践をたたえる

本年度の市納税表彰式は11月28日、一関文化センターで行われました。

式では、市民憲章を唱和した後、浅井市長が「日ごろより納税の意義と税の果たす役割を理解し、納税を通じてまちづくりに尽力いただき、深く敬意と感謝を申し上げる。真の豊かさを共感できる地域づくりを推進するため、今後も適正かつ公平、公正な課税と収納率の向上に努めてまいりたい」とあいさつ。

市長表彰

◎最優秀組合(19年度収納実績100%): 室根・大畠ほか1

◎優良組合(同95%以上100%未満): 一関12区ほか69組合

◎功労組合(前3カ年平均収納実績から19年度実績が1ポイント以上向上): 花泉・永井第2ほか148組合

◎大東・一市ほか51組合

◎功勞組合(4年以上連続完納)

◎千葉喜太郎(花泉・涌津第22)

連合会長感謝状

◎永年在役員(長年にわたり納税貯蓄組合役員として組合の育成活動・運営に尽力): 千葉喜太郎(花泉・涌津第22)

◎申込先問い合わせ先

一関市役所職員課 〒021-8501-1 関市竹山町7-2

☎ ②8186

連合会長表彰

◎優良勤続組合長(長年にわたり納期内完納の促進・納税思想の普及に尽力): 白石東助(千厩・館通り)ほか51人

◎優良功労組合(5年以上継続して年度内納付率100%): 東山・山谷ほか4組合

◎申込書の配布場所

市役所本庁職員課または各支所地域振興課

※郵便での請求もできます。詳しく述べ本庁職員課へお問い合わせください。

その他

身体の不自由な人であっても、職務にたえられる状態にある人の受験を勧めます。

20年度市納税表彰式

自主納税実践をたたえる

本年度の市納税表彰式は11月28日、一関文化センターで行われました。

式では、市民憲章を唱和した後、浅井市長が「日ごろより納税の意義と税の果たす役割を理解し、納税を通じてまちづくりに尽力いただき、深く敬意と感謝を申し上げる。真の豊かさを共感できる地域づくりを推進するため、今後も適正かつ公平、公正な課税と収納率の向上に努めてまいりたい」とあいさつ。

市長感謝状

◎優良特別徴収義務者(特別徴収義務者として市・県民税の徴収および納付に尽力): 株式会社立物販売一般公害集配センター(株)舞石舞石(佐藤製作所)

◎優良退職組合長(昨年中に組合長を勇退され、長年にわたり自主納税・組合運営に尽力): 千葉寛(一関・弥栄5区)

◎優良勤続組合長(長年にわたり納期内完納の促進・納税思想の普及に尽力): 白石東助(千厩・館通り)ほか51人

◎永年在役員(長年にわたり納税貯蓄組合役員として組合の育成活動・運営に尽力): 千葉喜太郎(花泉・涌津第22)

◎申込先問い合わせ先

一関市役所職員課 〒021-8501-1 関市竹山町7-2

☎ ②8186

受験手続き

◎第1次試験

試験の日時、場所、方法

◆第1次試験

試験の日時、場所、方法

試験の日時、場所、方法

試験の日時、場所、方法

20年度市納税表彰式

自主納税実践をたたえる

本年度の市納税表彰式は11月28日、一関文化センターで行われました。

式では、市民憲章を唱和した後、浅井市長が「日ごろより納税の意義と税の果たす役割を理解し、納税を通じてまちづくりに尽力いただき、深く敬意と感謝を申し上げる。真の豊かさを共感できる地域づくりを推進するため、今後も適正かつ公平、公正な課税と収納率の向上に努めてまいりたい」とあいさつ。

市長感謝状

◎優良特別徴収義務者(特別徴

收義務者として市・県民税の徴

収および納付に尽力): 株

式会社立物販売一般公害集配

センター(株)舞石舞石(佐藤

製作所)

◎優良退職組合長(昨年中に組

合長を勇退され、長年にわたり

自主納税・組合運営に尽力): 千葉寛(一関・弥栄5区)

20年度市納税表彰式

自主納税実践をたたえる

本年度の市納税表彰式は11月28日、一関文化センターで行われました。

式では、市民憲章を唱和した後、浅井市長が「日ごろより納税の意義と税の果たす役割を理解し、納税を通じてまちづくりに尽力いただき、深く敬意と感謝を申し上げる。真の豊かさを共感できる地域づくりを推進するため、今後も適正かつ公平、公正な課税と収納率の向上に努めてまいりたい」とあいさつ。

市長感謝状

◎優良特別徴収義務者(特別徴

收義務者として市・県民税の徴

収および納付に尽力): 株

式会社立物販売一般公害集配

センター(株)舞石舞石(佐藤

製作所)

◎優良退職組合長(昨年中に組

合長を勇退され、長年にわたり

自主納税・組合運営に尽力): 千葉寛(一関・弥栄5区)

20年度市納税表彰式

自主納税実践をたたえる

本年度の市納税表彰式は11月28日、一関文化センターで行われました。

式では、市民憲章を唱和した後、浅井市長が「日ごろより納税の意義と税の果たす役割を理解し、納税を通じてまちづくりに尽力いただき、深く敬意と感謝を申し上げる。真の豊かさを共感できる地域づくりを推進するため、今後も適正かつ公平、公正な課税と収納率の向上に努めてまいりたい」とあいさつ。

市長感謝状

◎優良特別徴収義務者(特別徴

收義務者として市・県民税の徴

第4期介護保険事業計画(骨子)へご意見・ご提言をお寄せください

現在、一関地区広域行政組合で策定作業を進めている第4期介護保険事業計画(平成21~23年度)について、住民意向調査や説明会を経て介護保険運営協議会でその骨子が下記のとおりとされました。

これに対する皆さんからのご意見・ご提言を広く募集します。

◇提出方法…任意の書式に△ご意見・ご提言△住所△氏名△年齢一を記入し、郵送、ファクス、電子メールで

◇提出期限…1月15日(火)

◎提出先・問い合わせ先…一関地区広域行政組合介護保険課

〒021-8501一関市竹山町7番地2 ☎③3223 FAX③3224 電子メールkaigohoken@city.ichinoseki.iwate.jp

第4期介護保険事業計画の骨子について

◎基本理念

介護保険制度は、スタートして9年目を迎え、介護を社会全体で支える制度として住民から理解を得て定着が進んだところです。

その一方で人口の減少傾向が続いている、75歳以上の後期高齢者は増加し続けています。介護予防重視の制度改正により、第3期介護保険事業計画期間(平成18~20年度)においては要介護認定者は横ばい傾向になっていますが、重度の要介護認定者は増加傾向となっています。

これらのことから、2015年(平成27年)をピークとする高齢化の中で、制度の安定的な運営を目指しつつ、「介護が必要になっても、尊厳を維持し、それぞれの状態に応じた日常生活を営むことができる」ことを目標として第4期介護保険事業計画(平成21~23年度)を策定するものです。

◎基本方針、長期目標、短期目標および具体的な施策

基本方針および長期目標は、第3期計画を継承しつつ高齢者の包括的な支援を目指すものとします。

なお、平成26年度までの長期目標を実現するため、第4期計画実施期間の短期目標とそれを実現するための具体的な施策を策定するものとします。

基本方針	長期目標	第4期計画の短期目標	第4期計画の具体的な施策
包括的な介護予防支援と各種団体との連携	地域ケア体制の整備	医療、保健、福祉分野等の社会資源と連携し、一人暮らし高齢者等を支援する体制を構築します。	○地域包括支援センターの機能強化 ○医療機関、介護保険施設、居宅介護サービス、社会福祉協議会および民生児童委員等との連携
要介護状態移行への予防推進、要介護状態の軽減と悪化の防止	介護予防、健康づくりへの本格的な取り組み	高齢者のさまざまなニーズに対して必要な支援を効果的に提供する体制を構築します。	○特定高齢者を対象とする効果的な介護予防事業 ○一般高齢者の自主的な活動の支援と介護予防活動の継続 ○家族の身体的・精神的・経済的な負担の軽減 ○要支援認定者に対する効果的な介護予防支援 ○地域包括支援センターによる情報提供と技術的な支援
事業者の参入によるサービス選択性の確保	多様化したライフスタイルを支えるサービス資源の確保	介護の社会化を推進し高齢者の住み慣れた地域での生活を支えます。	○小規模多機能型居宅介護および認知症対応型共同生活介護の指定 ○地域密着型特定施設入居者生活介護の指定 ○地域密着型サービスの機能充実 ○短期入所生活介護の指定
サービス事業者間の連携の強化	サービスの円滑な提供	サービスが、円滑かつ効果的に提供される体制の構築を図ります。	○サービスの提供に関する新たな課題への対応 ○身体拘束および虐待の防止 ○介護相談活動の充実
事業者の積極的な情報公開	給付の適正化	サービスの透明性を高め、良質かつ適正なサービスの水準を確保します。	○地域密着型サービス事業所に対する指導・監査 ○サービスの自己評価、外部評価および公表 ○介護給付情報と医療給付情報の統合等



東山中3年の佐藤安那さん
は、11月20日から東京で行われた高円宮杯第60回全日本中学校英語弁論大会に県代表として出場しました。9月に行われた県

中学校英語弁論大会弁論部門で2位に輝き、代表権を得たもの。5年前に中国から転校してきた佐藤さんは、苦労して日本語を覚えたことや学校生活、中学で生徒会長を務めて学んだり、ダの姿などについて、5分の持ち時間で堂々と訴えました。佐藤さんは「全国大会といふ大きな舞台で、自分らしいスピーチができるうれしかった」と振り返っていました。

英語弁論

佐藤安那さんが全国へ



上 左
ワーク・ライフ・バランスの大
切さを呼びかけた蟹瀬誠一さん
いわて男女共同参画サポート
ターの会「一関ブロックの皆さん
が寸劇を披露

市男女共同参画講演会は11月30日、一関文化センターで行われ、約320人が国際ジャーナリスト蟹瀬誠一さんの講演などで、男女共同参画社会実現に向けて学びを深めました。

開会に先立ち、一関男女共同参画推進キャッチフレーズ入選作品が発表され、「支えあう男女がつくる確かな社会」明るい未来」を応募した藤本千二さん(岩美町)が浅井市長から表彰を受けました。

男女共同参画

浅井市長は「講演会を契機に家庭や職場、地域などで男女共同参画社会実現に向けてご支援いただきたい」とあいさつ。続いている「人生相談『父親』の時間ない夫」をテーマに寸劇を披露し、夫婦で話し合い、家族と過ごす時間の大切さを呼びかけました。



いわいの里ガイドの会の白沢会長(右から二人目)ら二人がステージ上でPRした審査会

ふるさとCM大賞

「骨寺村」テーマに参加

県内31市町村が手作りコマーシャルでふるさとを競い合った「ふるさとCM大賞 in IWATATE 2008」(岩手朝日テレビ主催)の審査会は11月23日、盛岡市で催されました。本市からは、一関市商工会議所青年部東山支部長(鈴木寿和)が参加し、高部東山支部長が参加し、高い技術と工夫があふれる作品で本市の魅力を大いに伝えました。

市の若者が主役の地域おこし事業を活用して制作した今回は、「骨寺村」がテーマ。武将の娘がドクロからお絆を習い、そのドクロを骨寺村にある慈恵塚に納めたという伝説を再現。そ

の後舞台を現代に移し、慈恵塚をいわいの里ガイドの会の白沢剛会長が案内するという内容です。800年以上も守り続けてきた美しい農村風景を映し出することで、ふるさと愛を表現しました。

審査会の様子は12月27日午後4時から、岩手朝日テレビで放送されます。作品は参加賞として年間20回、同テレビで放送されます。

「ワーク・ライフ・バランスのススメ」「共働き」ではなく「共育て」の演題で講演した蟹瀬さんは、共働きで一人の子どもを育てた経験を紹介。保育園長に「共働きをやめて共育て」と言わされたことに触れ、保護者同士や近所の助け合いなどで夫婦の負担が減ると提言。また、「子育てはおもしろい。自分も子どもに育てられた」とし、「日常生活の中で肩ひじを張らずに男女共同参画が実現するためには、ワーク・ライフ・バランスが鍵」と訴えました。

「ワーク・ライフ・バランスのススメ」「共働き」ではなく「共育て」の演題で講演した蟹瀬さんは、共働きで一人の子どもを育てた経験を紹介。保育園長に「共働きをやめて共育て」と言わされたことに触れ、保護者同士や近所の助け合いなどで夫婦の負担が減ると提言。また、「子育てはおもしろい。自分も子どもに育てられた」とし、「日常生活の中で肩ひじを張らずに男女共同参画が実現するためには、ワーク・ライフ・バランスが鍵」と訴えました。

平泉文化の理解を深める

いわて東山歴史文化振興会(佐藤育郎会長)が主催する歴史文化講演会は11月22日、松川公民館で行われました。中尊寺の山田俊和貫首を講師に招き、市内外から訪れた約150人が聴講しました。

山田貫首は冒頭、東山町特産の東山和紙や磐井清水若水送りについて触れ、「若水を届けていただきありがとうございました」と話し講演をスタート。中尊寺建立の意図が記された「中尊寺建立供養願文」に込められた平和への強い願いなどについて、わかりやすく解説し、「藤原清衡公は敵も味方も関係なく、皆平等に、一緒に浄土に導きたいという考え方をしていた」と平泉文化の浄土思想について語りました。

熱心に講演を聞いた参加者は、世界遺産登録への再挑戦に向け、理解を深めていました。

講演終了後、山田貫首は参加者とともに松川公民館脇の収蔵庫に安置されている県指定有形文化財二十五菩薩像を拝観。「大変立派な仏像」と話していました。



ほっと NEWS
にゅーす

こんなこと
ありました



技能五輪全国大会建築大工部門で銀賞を受賞した小野寺剛さん

手ごたえ感じた建築の技

技能五輪全国大会の建築大工部門は11月1日から2日間、千葉市の幕張メッセを会場に催され、県代表として出場した小野寺剛さん(22)=千厩町=が見事、銀賞に輝きました。競技では、複雑な形状で高度な技術が求められる「正六角形小屋組(写真)」を作製。原寸図、墨付け、完成品と段階ごとに厳しい審査を受けます。高い評価を受けた小野寺さんの作品は、一部の隙もなく精密そのもの。残念ながら世界大会出場となる金メダルはわずかな差で逃しましたが、手ごたえ十分の作品で銀メダルをつかみました。



現地調査で発見した「地域の宝」を記入した地図を作成

地域の資源や課題を探る

大東町曾慶地区の地域資源の発掘や課題解決を目的とした「地区点検」は11月24日、岩手大学と市、同地区、NPO法人どんぐり協会による協働で行われました。約50人の参加者は6グループに分かれ、地域を歩いて棚田や歴史文化を伝える石碑などの写真を撮影。その後室内で子や孫に教えたいことや残しておきたい自然景観などを地図上に書き込む、地域資源マップの作製に取り組みました。地区内のお宝や身近な課題などを再確認した参加者。この内容は今後、地区的ビジョンづくりに生かしていく予定です。